

資料提供

月 日	担当館名	電 話	担当者
2月 1日	県立近代美術館 文化の森企画広報室	tel: 088-668-1088 fax: 088-668-7198	学芸課 竹内、安達、 友井

特別展「きんぴアート発見学」 の開催について

趣旨

この展覧会は、徳島県立近代美術館のコレクション(所蔵作品)にちなんだワークショップを事前に行い、その美術作品と、参加者による作品などワークショップの成果を合わせて展示するものです。

会場は 3 つのコーナーにわかれます。まず、材料や画題などから所蔵作品と自分の制作とのつながりを探る「アート自由研究帳」シリーズとして、「1 大久保英治と季節を見つける」、「2 多視点デザインに挑戦」の 2 つがあります。そして、コレクションの魅力に高校生たちの若い目線で光をあて、展覧会を「つくる」ワークショップとして企画された「3 高コレ」です。

本展は「つくること」を切り口に美術鑑賞を深めてみようという、新しい展覧会の提案です。ワークショップの臨場感を追体験しながら、つくる人、みる人ともに、美術館のコレクションの魅力とあらためて出会っていただけたらと願っています。

展覧会概要

- 1 名称** きんぴアート発見学 -つくる&みることの交流展-
- 2 会期** 平成25年2月9日[土]-3月24日[日]
開館:午前9時30分-午後5時
- 3 会場** 徳島県立近代美術館
(〒770-8070 徳島市八万町向寺山 <http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/>)
- 4 主催
後援** 徳島県立近代美術館／徳島新聞社／四国放送
NHK 徳島放送局／エフエム徳島／徳島県文化振興財団
- 5 休館日** 月曜日、2月12日 *2月11日は祝日開館します。
- 6 観覧料** 一般 200[160]円／高・大生 100[80]円／小・中生 50[40]円
*[]内は20名以上の団体料金です。*高齢者(65歳以上)は観覧料が半額、障害者は無料になります。*小・中・高生は土・日・祝日は観覧料が無料です。*特別展の観覧料で所蔵作品展もご覧いただけます。

(裏へつづく)

出品内容

※出品作品は変更される場合があります。

ワークショップ アート自由研究帳

【大久保英治と季節を見つける】のコーナー 36点

ランドアート作家の大久保英治さんを講師にまねき、2012年6月から12月にかけてワークショップを3回実施。場所は吉野川河口付近。ワークショップを通して生まれた、大久保英治さんの新作1点、参加者19名中11名、サポーター19名中2名、計13名による24点、そして、当館で所蔵している大久保英治さんの〈影シリーズ〉(9点)、〈空へ〉などと合わせ36点を展示します。

ワークショップ アート自由研究帳

【多視点デッサンに挑戦】のコーナー 134点

2012年12月にワークショップを2日間実施。講師は平木美鶴さん(徳島大学教授)。ホックニーやピカソの方法にならって、ものの形を様々な方向から見て自由に構成する「多視点」の表現に挑戦しました。参加者19名による7つの課題作品群と、当館所蔵のピカソ〈赤い枕で眠る女〉、ホックニー〈グレゴリーのイメージ〉、〈文字合わせゲーム 1983年1月1日〉と合わせて展示します。

高校生がつくった展覧会

【高コレ】のコーナー 38点(予定)

高校生の若い目線で当館のコレクションに光をあて、展覧会コーナーをつくります。2012年7月に県立徳島商業高等学校美術部が活動の主体に決定し、「制作活動をする若い世代が見て、かわいい、カッコイイと感じ、多くの人に見せたい・見て欲しい作品」を選定する作業を続けてきました。平面作品30点、立体作品8点を展示予定です。

関連事業

【アーティスト・トーク】

3月3日[日]午後2時-3時30分/展覧会場/申込不要 *展覧会の観覧券が必要
大久保英治[本展出品作家]、聞き手:友井伸一[上席学芸員]

【高コレ-高校生のつくった展覧会トーク】

3月10日[日]午後2時-3時/展覧会場/申込不要 *展覧会の観覧券が必要
話者:高コレ参加生徒、小野寺弘[美術教諭]、安達一樹[上席学芸員]
高校生が自分たちの感性で選んだ作品について、みんなで語り合しましょう。

【特別展ツアー】(学芸員による展示解説)

2月11日[月・祝]午後2時-3時/展覧会場/申込不要 *展覧会の観覧券が必要
講師:竹内利夫[上席学芸員]

【こども鑑賞クラブ】

2月16日[土]午後2時-2時45分/展示室3[2階]/対象:小学生(保護者同伴可)
参加費:無料(同伴の保護者は観覧券が必要です。)/講師:学芸員ほか